

先端医科学研究の現状

平成20年11月27日【木】

〔開催時間〕9:15～17:00(予定)
〔場 所〕文部科学省研究交流センター
茨城県つくば市竹園2-20-5

会費
無料

日 程

9:15～9:30	開会挨拶 ◆ (独立行政法人医薬基盤研究所 理事長)
9:30～12:30	先端感染症研究の現状 霊長類を用いたフラビウイルス感染モデル ◆ 倉根一郎 (国立感染症研究所ウイルス第一部 部長) 粘膜免疫を基盤としたワクチン戦略 ◆ 清野 宏 (国立大学法人東京大学医科学研究所 教授) ワクチンとアジュバント研究の新たな展開;自然免疫センサーの役割 ◆ 石井 健 (国立大学法人大阪大学微生物病研究所 准教授) 新規抗マalaria薬の開発研究 ◆ 綿矢有佑 (国立大学法人岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)
12:30～13:30	— 昼 食 —
13:30～14:30	〔特別講演〕 Quarternary Structure-based Modularity for Novel Vaccines and Nanomedicine ◆ R. Holland Cheng (Professor : Department of Molecular and Cellular Biology, University of California, Davis)
14:30～15:00	〔講 演〕 実験用カニクイザルとの30年の歩み ◆ 吉田高志 (独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター 室長)
15:00～15:15	— 休 憩 —
15:15～16:45	トピックス2008 RNA干渉を用いた遺伝子治療の可能性 ◆ 横田隆徳 (国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 准教授) マーモセットと社会行動 ◆ 中村克樹 (国立精神・神経センター神経研究所 部長) 生物資源としてのミドリザルES細胞の樹立 ◆ 下澤律浩 (独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター 研究員)
16:45	閉会挨拶 ◆ (独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター センター長)

■参加申し込み方法

参加申し込みはE-mail (tprc2008@primate.or.jp) またはFAX (029-837-0218) にて会社名(機関名)、所属部署、氏名(フリガナ)、連絡先(郵便番号・住所・TEL・FAX・E-mail)を明記のほか、昼食弁当、懇親会参加希望などについてもご連絡ください。なお申し込み締め切りを2008年11月14日(金)とします。詳細については独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センターホームページ(URL:<http://tprc.nibio.go.jp/>)または社団法人予防衛生協会ホームページ(URL:<http://www.primate.or.jp/>)をご覧ください。

〔主催〕 第4回霊長類医科学フォーラム実行委員会
(独立行政法人医薬基盤研究所、社団法人予防衛生協会)

〔後援〕 厚生労働省／文部科学省／農林水産省 〔協賛〕 国立感染症研究所

